

チューニングの方法

■ メーター・モード

ディスプレイのメーターでチューニングします。

1. ピックアップ付きの楽器やコンタクト・マイク等を使用している場合は、CA-1のINPUT端子に楽器またはマイクのコード(プラグ)を接続します。

内蔵マイクを使う場合は、INPUT端子にプラグを接続せずに、手順4・5で、楽器に内蔵マイクをできるだけ近づけます。

INPUT端子にプラグが接続されているときは、内蔵マイクは使用できません。なお、この端子はモノラル専用です。ステレオ・プラグは使用できません。

2. 電源スイッチを押します。
電源ON時は、前回設定した基準ピッチ(初期設定: A=440Hz)になります。電源ONのまま音の入力が約20分間ない場合は自動的にOFFになります。
3. 基準ピッチを変更(キャリブレーション)するときは、CALIB[▲]または[▼]スイッチを押します。410Hz~480Hzの範囲で1Hz単位に変更できます(※)。
4. 楽器を単音で鳴らします。
ディスプレイに入力した音に一番近い音名が表示されます。合わせたい音名が表示されるように、楽器をおおまかにチューニングしてください。
5. 楽器を単音で鳴らして、メーターが0位置(中央)を指し、チューニング・ガイドの中央のランプが点灯するようにチューニングします。チューニング・ガイドは、音が低いときは左、高いときは右のランプが点灯します。
ある音に対して、純正の長3度上、または純正の短3度上にチューニングするには、メーターをそれぞれ"▼"(d: -13.7 CENT)、"▲"(e: +15.6 CENT)に合わせます。
例えば、A (0 CENT)の音に対して、純正の長3度上の音にするには、音名表示をC#にして、メーターを"▼"(d: -13.7 CENT)に合わせます。また、A (0 CENT)の音に対して、純正の短3度上の音にするには、音名表示をCにして、メーターを"▲"(e: +15.6 CENT)に合わせます。

チューニング時、関係ない音がマイクに入らないようにしてください。

■ サウンド・モード

基準音を鳴らしてチューニングします。

1. 「メーター・モード」の手順2,3を設定します。
2. [SOUND]スイッチを押してサウンド・モードに入ります。
3. [SOUND]スイッチを押して、合わせたい音名を選びます(NOTE SELECT)。
[SOUND]スイッチを約一秒間押し続けると、AB₅と12NOTEが順番に切り替わり(※)、その後、このスイッチを押したとき選ばれる音名が変わりません。
AB₅ : A → B₅ → メーター・モード (初期設定)
12NOTE : C(4) → C# → D → E₅ → E → F → F# → G → G# → A → B₅ → B → C(5) → メーター・モード
4. CA-1が出力する発振音に合わせて、楽器のピッチをチューニングしてください。

電池の入れ方

CA-1の裏側にある電池の蓋を、スライドさせながらはずします。極性に気を付けて電池を入れ、蓋を閉めます。

誤動作が発生し、電源を何度か入れ直しても改善しない場合は、電池をいったんはずして、入れ直してください。

付属の電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

電池の容量が少なくなると、ディスプレイの表示がゆっくりと点滅します。早めに新しい電池と交換してください。

